

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第93回）に係る面談
2. 日時：令和3年9月1日（水）10時05分～11時35分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

林田管理官補佐、石井係長、久川係員、塩唐松係員

大辻室長補佐（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

小林所長、廣岡原子力防災専門官、坂本原子力運転検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室8名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所4名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第93回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 多核種除去設備等処理水の取扱いに関する安全確保のための設備の検討状況について
- HIC スラリーの移替え作業の状況
- 一時保管エリアコンテナ点検の実施状況
- 1/2号機排気筒ドレンサンプピットの対応について
- 一時保管エリアP排水枡における全β値の一時的な上昇について
- 福島第一原子力発電所固体廃棄物の保管管理計画 ～2021年度改訂について～

○原子力規制庁は上記内容を確認するとともに、以下のとおりコメントを行った。

【多核種除去設備等処理水の取扱いに関する安全確保のための設備の検討状況について】

- 多核種除去設備等処理水の処分に関する審査状況については、原子力規制庁より令和3年8月25日の第26回原子力規制委員会で報告した内容を共有することとしたい。

【令和3年2月13日の福島県沖の地震を踏まえた東京電力福島第一原子力発電所の耐震設計における地震動とその適用の考え方について】

- 東京電力福島第一原子力発電所における耐震設計については、前回（第92回）検討会での議論及び前回検討会で提出を求めた東京電力の意見書面を基として、当庁の考え方を取りまとめているところであり、今後原子力規制委員会に諮る予

定。

- 可能であれば、次回検討会において、見直した耐震設計の適用の考え方を現在審査中の案件を用いて例示したいと考えている。

【HIC スラリーの移替え作業の状況】

- 当該移替え作業（液位確認作業含む）時における作業員の被ばく線量を示すこと。
- 当該移替え作業の再開時期については、高性能フィルタの損傷原因調査及び点検作業の完了を待つことなく、代替となる健全なフィルタ等が確保され次第、移替え作業の再開を検討すること。
- その上で、高性能フィルタの点検状況について、通常運転の再開時期に対する考え方と合わせて示すこと。

【1/2号機排気筒ドレンサンプルピットの対応について】

- 7, 8月のピット内水のサンプリング及び分析については、次回検討会当日までに提示が可能なデータがあれば示すこと。

【福島第一原子力発電所における廃棄物の保管管理状況について】

- 一時保管エリアにおける瓦礫等の管理不備については、令和3年度第1四半期実施計画検査において軽微な違反と判定し、保安検査において廃棄物の保管管理状況を改めて確認しているところ。
- 次回検討会において、保安検査等を通じて確認された廃棄物の保管管理状況及びその運用面に対する問題点等を原子力規制庁側より提示して議論したいと考えている。

【福島第一原子力発電所固体廃棄物の保管管理計画 ～2021年度改訂について～】

- 固体廃棄物の分析計画については、放射性物質分析・研究施設第1棟の竣工遅延の影響も含めて、今後の分析体制に必要なキャパシティ等を示すこと。

6. 資料

- 多核種除去設備等処理水の取扱いに関する安全確保のための設備の検討状況について
- HIC スラリー移替え作業の状況（案）
- 1/2号機排気筒ドレンサンプルピットの対応について（案）
- 一時保管エリアコンテナ点検の実施状況（案）
- 一時保管エリアP排水枡における全β値の一時的な上昇について（案）
- 福島第一原子力発電所 固体廃棄物の保管管理計画 ～2021年度改訂について～
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2021年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）